



メンテナンス簡単
オプション追加可能
コストダウン

SP9

Salt resistant Power Receiving function

耐塩性受電機能

- ▶ 従来、半年に1度(※目安)耐塩フィルター(吸気用防噴流ギャラリ)の交換を必要としていましたが、SP9にすることで耐塩フィルターの取り付けが不要(交換作業が不要)となりました。
- ▶ 重耐塩仕様キュービクルとは異なり、排気用換気扇と耐塩フィルター(吸気用防噴流ギャラリ)の取り付けが不要となることで、最大10%のコストダウンを達成できました。(※3面体仕様の場合)
- ▶ 「防雪対応」「UPS・監視装置の盤内収納」など、その地域やお客様のご要望、使用機器に見合った対応など、随時ご相談を承っております。

塩害地域への設置に最適な新しい形のキュービクル

変圧器を露出させることで盤内温度上昇が抑えられ、換気扇の設置が不要となります。

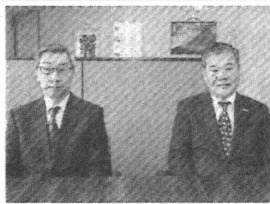
創業75周年

Kansai Denki

関西電機工業株式会社

JSIA優良工場認定

大阪府東大阪市新喜多1丁目6番30号/〒577-0052 TEL. 06-6788-0111 FAX. 06-6788-0147 <http://www.e-kansai.co.jp>



釋社長(左)と寺田会長

釋社長は関西電機工業の印象について「真面目な会社」とイメージ。従業員数30人規模の会社だが、社内の情報管理システムがしっかり

太陽光発電(PV)システム関連の各種機器メーカー、関西電機工業(本社・大阪府東大阪市新喜多1-6-30)は、2019年11月に大型コンベヤメーカーの日本コソバヤ(本社・東京都千代田区)のグループ会社となり、今年6月18日付で日本コソバヤ執行役員の釋光氏が関西電機工業の代表取締役就任した。今年9月には創業75周年を迎え、新体制初年度の歩みを進めている。同社の近年のトレンドは、PVメンテナンス市場へ事業拡大を図るとともに、ドローンと赤外線カメラ画像処理を用いたO&M(運用整備)点検管理システムを開発、同システムにAI(深層学習)を連携させる技術の確立を目指している。

3代目トップに就任した釋社長は現任、日本コソバヤでPV事業を牽引する再エネソリューション事業部長を兼任している。親会社と子会社双方に籍を置き、二刀流の立ち回りでグループのPV事業を活性化すべく奮闘を担う。釋氏は関西地区の弱電メーカーに長年籍を置き、2016年にキャリア採用で日本コソバヤに入社。同年から同社でPV事業に携わっている。日本コソバヤのPV事業の主な業務内容は発電場の事業拡大を図るとともに、電所の開発、設計、施工を一括して請け負うO&M事業。他方、関西電機工業はPVシステム関連の各種盤類の開発、製造、システムアップなどを主業とする。両社の連携により互いのPV事業で相乗効果が期待される。

創業75周年、新社長に釋氏就任 AI連携のPV確立へ

整備されている。また他社より先行する技術を持ち、多様なニーズを展開できる強みがある。寺田前社長が築き上げてきたこの会社の資産価値をしっかりと受け継いでいきたいと語る。

今後の研究開発では、ドローンと赤外線カメラ画像処理技術を活用したPVの遠隔点検、保守点検、故障診断、予兆診断などを省人化する既存の盤類開発では、塩害地域への設置に最適な新形状のキュービクル(高圧受電設備)を発売した。変圧器を露出させることで盤内温度上昇を抑え、換気扇の設置が不要とするパッケージ設備として、今年度からPV業界に向けて提案を始めていく。

支援している。寺田会長は同社で40年以上社長を務め上げてきた。従来は受配電盤の製造・販売を主業としていた社を2013年以降、PV業界専門の盤類メーカーへと導く事業軸へシフトさせた。PV業界に特化したことが結果として同社の成長につながったと振り返る。

パネルの故障や劣化が分かるストリング監視組み込み型など、多彩なPV接続箱をラインアップしている。案件ごとの個別要求に対応する技術力を持ち合わせる。盤類開発、パッケージング、システムエンジニアリングに精通し、実用性が高いPVシステムのインテグレーションを構築する。